



学際高等研究教育院
学際科学フロンティア研究所 共催



全領域合同研究交流会

平成30年度後期第4回

平成30年1月11日（金）

13:00～

場所：学際高等研究教育院
大セミナー室



ポスター発表

『斜長石のレオロジーへの水の効果』

－木戸 正紀 博士教育院生 (理系研究科/先端基礎科学領域)

『人工流れ星実証小型衛星の制御技術』

－佐藤 悠司 博士教育院生(工学研究科/情報・システム領域)

『私たちはなぜ『人』を見てしまうのか』

－小林 亜紀子 博士教育院生(医学系研究科/人間・社会領域)

『高分子ハイブリッドナノシートを利用した多孔性SiO₂超薄膜の作製とナノ構造制御』

－石崎 裕也 博士教育院生 (工学研究科/物質材料・エネルギー領域)

『アカデミア発創薬による糖尿病性腎症の新規治療薬の開発』

－鈴木 歩 修士教育院生 (医学系研究科/生命・環境領域)

『鋳型重合と連携した脂質膜の自己生産～分子集合系からプロトセルへ～』

－栗栖 実 修士教育院生 (理学研究科/先端基礎科学領域)

『2型自然リンパ球におけるIQGAP1の機能解明』

－田山 舜一 修士教育院生 (医学系研究科/生命・環境領域)

『環境指標を用いた古環境復元から見た人類史』

－奥平 早香 修士教育院生 (理学研究科/生命・環境領域)

※学際研の先生方による発表は

梨本 裕司先生 (生命・環境領域)、Alimu Tuoheti先生 (人間・社会領域)、郭 媛元先生 (デバイステクノロジー領域) にポスター発表をして頂きます。

多様化・精密化する現代で私たちが直面する多くの問題には、様々な要因が複雑に絡み合っています。学問体系の枠組みにこだわらず、異なる研究分野同士が手を取り合って新たな学問領域を切り開き、種々の課題に立ち向かうことが必要です。特に学際科学フロンティア研究所の若手研究者と学際高等研究教育院の研究教育院生は、先陣を切って分野横断的な融合領域研究を推進することが求められます。融合領域の創成には、複眼的・多角的な視点が不可欠です。この視点を養うために「全領域合同研究交流会」では、若手研究者と大学院生が自身の研究をわかりやすく紹介し、自然科学・人文社会科学の境界を越えた議論を行っています。参加者が各々の研究を見つめ直し、深め、広げる機会でもあります。

本交流会は、学際高等研究教育院の研究教育院生が中心となって運営しています。学際科学フロンティア研究所・学際高等研究教育院に所属する方はもちろん、東北大学のすべての研究者・大学院生・学部学生の参加を歓迎します。是非お気軽にご参加ください。

学際高等研究教育院生一同



口頭発表

『グラフ理論からみる人工ニューラルネットワーク』

Artificial neural networks in terms of graph theory

－伊東 桂司 博士研究教育院生 (情報科学研究科/情報・システム)

『ムカデが歩行と遊泳を操るメカニズム～脳からの指令は必要か？～』

How centipedes control the behavioral switching between walk and swim?

－安井 浩太郎 博士研究教育院生 (工学研究科生命・環境領域)

次回予告

平成30年度後期第5回：2月6日（水）13:00～

詳細は決まり次第ホームページにてお知らせします。

http://www.fris.tohoku.ac.jp/feature/whole_area_info/

お問合せ

学際高等研究教育院 総合戦略研究教育企画室
022-795-5749

E-mail:senryaku@iiare.tohoku.ac.jp



Tohoku University Division for Interdisciplinary Advanced Research and Education

学際高等研究教育院



東北大学

学際科学フロンティア研究所

Frontier Research Institute for Interdisciplinary Sciences